



## Vol.30

弁護士 岡 正俊  
狩野・岡・向井法律事務所

### ★ユニオンって何ですか？

今月、とある経済団体で、人事・労務・総務部門に新しく配属された中堅社員の方々を対象に、ユニオン対応の講義をさせていただく機会がありました。受講者の方々は必ずしも労務担当というわけではなく、人事部門の中でも採用担当であったり、教育担当であったり、様々な担当の方が受講されていたようです。講義のコースは人事・労務・総務に関するもので、3ヶ月ほどかけて全部で20回近く行われ、私の講義はそのうちのひとつでした。なかなかボリュームのある講義のコースで、皆さん熱心に受講されていたと思います。

受講者が労務担当の方ばかりではなく、しかも新しく配属された方が対象ということで、できるだけ分かりやすく、基本的なことからお話しするようにしたつもりでしたが、出だしから予想外の展開に・・・。

ユニオンの特徴として、一人でも入れます、だいたい職業に関係なく加入できますといった説明を

し、「皆さんはどんなユニオンがあるか知っていますか？」と尋ねたところ、困っている様子で手が挙がりませんでした。

そこで私の方から、「東京管理職ユニオンは？」「プレカリアートユニオンは知っていますか？」「首都圏青年ユニオンはどうですか？」などと問いかけてみましたが、受講者の方は首を捻っており、ピンときていないようでした。某引越会社の件は知っているか聞いてみたところ、そのことは知っているようでした。

私は、こういう仕事（使用者側の労働事件を扱う事務所の弁護士）をしているので、ユニオンのホームページやブログなどを時々覗いたり、ユニオンがらみのネットニュース等があるとクリックしてしまったりします。

しかし、それは一般の方にとってはたくさんあるニュースのうちの一つにすぎず、テレビのニュースや番組で取り上げられたりすれば目にする機会もあるでしょうが、

ネットニュースに出たくらいではあまり気にとめるものでもないのだと改めて思いました。

私が毎日のように聞いている「ユニオン」という言葉も一般の方にはあまり馴染みのないものなのだ実感しました。実際、受講者は、ユニオンというものが世間でどのように評価されているのかも良く分からないようで、そのような質問もありました（私は「ブラック企業をあばく弱き労働者の味方ですかね？」と答えましたが）。

一方ユニオンはというと、ホームページや SNS を使った活動がますます盛んになっているようで、あるユニオンのホームページには動画のサイトなどもできているようです。

ユニオンと団体交渉を行っていると、会社側が（どうしても譲れないので）譲らない場合、ユニオンからネットで情報を発信することになると言われることがあります。会社側がこれを避けようとする、ユニオン側の要求に対してある程度譲歩したり、場合によっては要求を全て飲まなければなりません。ユニオン側も当然それを

狙っているわけです。

前述の受講者の方々の反応を目の当たりにして改めて考えました。

昔ながらのユニオンの会社への押しかけ、ビラ撒き等の街宣活動については、動じない姿勢を見せるのが基本的な対応になると思いますが、ネット活動をするぞと言われた場合も同じだと思います。できることはできるが、できないことはできないと言う、当たり前と言えは当たり前ですが、このように毅然とした態度がとれるかどうかだと思います。

さらに言えば、街頭演説やビラ撒き等は、会社の前で行ってれば、関心がない人でも通りかかれば、「ああ、この会社では何かあるのだな」と思うかもしれませんが、ネットの場合には関心がある人しか覗きにこないといえるかもしれません。ネットは、火が付いた時の火消しの難しさは街宣活動の比ではありませんが、そこまでいかなければ、逆にあまり一般の方の目に触れることもないのかもしれないと思いました。